

47 チクゼンハゼ
Gymnogobius uchidai

(ハゼ科)

兵庫県ランク:A
環境省ランク:VU

種の概要

全長5 c m程度。河口干潟や前浜干潟の砂底～砂泥底に生息する。下顎の腹面にひげ状の突起を持つ。スナモグリ類、アナジャコ類などの無脊椎動物が作った生息孔を生息場、産卵場利用し、雄は生息孔に産み付けられた卵を保護する。日本固有種で、太平洋側は北海道から鹿児島県まで、日本海側は京都府から鹿児島県まで、また瀬戸内海の沿岸にも分布する。

写真なし

県内における生息状況及びその他特記事項

県内での分布は瀬戸内海側の数河川に限られる。河口干潟、前浜干潟などに生息するが、個体数は少ない。

保護上の留意点

本種は生息場所として無脊椎動物の生息孔を利用しており、無脊椎動物を含めた干潟環境の保全が求められる。埋め立てや河道掘削による直接的な生息地の消失を避けるほか、生息地の上下流の改変により、河川や潮の流れ、土砂供給量の変化などを通して引き起こされる間接的な生息地の消失（本種の生息に適した底質の消失）にも留意する必要がある。

県内分布

加古川市、高砂市、姫路市、赤穂市、たつの市

【執筆者】田中 哲夫・庄子 恭平・信本 励

主要な選定理由

人為性	激減	○
	環境	○
	捕獲	
	遺伝	
特殊性	特殊	○
	孤立	
学術性	極限	○
	限界	
	希少	○

